

# 47 練馬の魅力づくりと練馬ならではの観光の推進

## (1) 広報キャンペーンの展開

### ●「Yori Dori Midori (よりどりみどり) 練馬」

『ビジョン』策定を契機に、平成27年3月から緑豊かな練馬区の多彩な魅力を区内外に発信する広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」を実施し、練馬区の「住んでよし」「訪れてよし」のまちのイメージの拡大・定着を図っている。

27年度は、「練馬区のみどり」をテーマに写真を募集した。集まった公園や農地、まちかどの風景など2,297枚の写真を活用した「よりどりみどり練馬写真展」を開催し、応募写真を組み合わせたシンボルアートも展示した。また、1,000人以上の区民の方が参加したテレビCMを制作し、地上波テレビや鉄道駅、映画館で放映するなど、戦略的に広報を展開した。

併せて、区民による魅力発信の仕組みとして、区民がフェイスブックを活用して、練馬の良さを発信していく「よりどりみどり練馬公式PRサポーター」を導入した。



〔広報キャンペーン  
「よりどりみどり練馬」PRチラシ〕

## (2) 「練馬ならではの観光」の推進

練馬区は観光都市のように経済効果を期待できる観光資源が多く存在するわけではない。

しかし、日常の中にきらりと光る特色ある資源や、これまで育まれてきた伝統や文化がある。これらを磨き価値を高めることにより、区民の誇りや愛着につなげていくため、練馬区の魅力を広く発信していく必要がある。

### ●練馬の魅力を手感できる仕組みづくり

#### 1 とっておきの練馬プロジェクト

平成28年3月から、新たに、「練馬ならではの観光」を推進するため、『区民目線による練馬の魅力』の情報を集め、多様な方法で発信する取組を実施している。

##### (1) とっておきの練馬の魅力大募集

1年間を通じて、四季折々の練馬の魅力（見ど

ころ、自然、食べ物、イベントなど）の情報を区民から募集する。投稿の募集は、28年3月1日から開始した。

##### (2) 投稿を活用した関連イベント

投稿情報を写真展、ウォークイベントなどに活用する。

## 2 (仮称) 石神井観光案内所の設置

西武池袋線石神井公園駅高架下に区内2か所目の観光案内所を設置する。

29年に予定している開設に向けて調整・準備を行っている。

### ●(一社) 練馬区観光協会との連携・支援

地域で育まれた文化や資源、区民等が生み出す新しい価値を磨き、効果的に発信する「練馬ならではの観光」を推進するため、練馬区観光協会等との連携を進めている。

平成27年度の観光協会の主な事業は、産業・観光情報コーナー運営、区内観光マップの制作、ねりコレ(練馬区にちなんだ商品)事業、まち歩き観光ガイド事業などである。

なお、観光協会による様々な取組については、事業費および運営費の補助を行っている。

## (3) 練馬の魅力を感じるイベントづくり

区民や来街者が参加・交流し、練馬の実感できる機会を創るため、区の2大まつりである練馬まつり・照姫まつりを開催した。

### ●第38回 練馬まつり

としまえん会場を中心とした出展やステージイベントのほか、今回は新たに練馬産業見本市を開催するなど、多様なイベントを同時開催した。



〔練馬まつりポスター〕

①主 催 練馬まつり推進協議会

②開催日 平成27年10月18日(日)

③会 場 としまえん

④内 容 ステージ、各種出店・展示、子ども体験

コーナー

- ⑤来場者 32,000人
- ⑥その他 以下のイベントを同時開催した。
  - ・としまえん会場：
    - 練馬産業見本市、ねりま・エコスタイルフェア、健康フェスティバル
  - ・練馬駅北口周辺会場（開催日 10月17、18日）：
    - 練馬アニメカーニバル、文化事業、商店会との連携事業

適した導入方法の検討を行っている。

### ●第28回 照姫まつり

区民など約100名が参加する豪華絢爛な照姫行列に加え、区と友好都市である長野県上田市との連携イベントを実施した。

- ①主 催 照姫まつり推進協議会
- ②開催日 平成27年5月17日（日）
- ③会 場 都立石神井公園およびその周辺
- ④内 容 照姫行列・出陣式・帰還式、ステージ、出店・展示
- ⑤来場者 13万人
- ⑥その他 友好都市長野県上田市と連携（甲冑隊、陣太鼓、物産品販売など）



【照姫まつりポスター】

## (4) 風を感じるまちづくり

### ●散策しやすいまちづくり

区では、都市計画道路や生活幹線道路などの新設や整備済路線の改修に当たり、バリアフリー化を図るとともに地域の景観に配慮して緑化、無電柱化、街路灯などの施設整備により道路の質の向上を図り、安全・安心で散策しやすいまちづくりを進めている。

特に、現在、自転車に関する交通事故の増加や自転車利用者のルール・マナー違反等により、自転車と歩行者を分離した自転車走行環境の整備が求められている。そこで、都市計画道路の整備にあわせて、自転車レーンの設置を進めている。

### ●シェアサイクルの導入に向けた取組

複数のステーション間で貸出・返却ができるシェアサイクルは、短時間・短距離の移動や来街者の自転車散策に適した公共交通手段として、他自治体での導入が進んでいる。

そこで、区では、先行自治体の調査等を行い、区に